

## 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語/言語文化】

### 1. 対象

全体的に明るく外交的な生徒が多く、意見交換も活発的に行う。これまで和歌集や美意識に関する評論文等を通して我が国の言語文化について深く学習してきた。授業においては継続的にペア・グループワークを行っており、それらの言語活動を通して学びを深める機会が多くあった。

2. 単元名 「作品をより深く解釈し、短歌の魅力を知ろう。」（全4時間）（教材「短歌 十五首」）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文書の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【(1)ウ】
思考力, 判断力, 表現力等	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈している。 【「B読むこと」(1)イ】
学びに向かう力, 人間性等	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

### 4. 本時の目標

短歌の魅力について自分の考えを深めることができる。

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

#### 解決したい課題や問い

短歌の魅力ってなんだろう？

#### 考えるための材料

- ①教科書に掲載された短歌
- ②作者の人生、時代背景、作品の特徴（インターネット上の資料）
- ③Google スライド

#### 想定される活動

- ①教科書に掲載されている短歌から印象に残った作品を選ぶ。
- ②選んだ短歌について、作者の人生や時代背景、作品の特徴などをクロームブックを用いて調べること、作品の背景を知り、短歌に込められた作者の思いを深く解釈する。
- ③調べた内容をGoogle スライドにまとめる作業を通して改めて選んだ短歌の魅力を考え、グループで発表する。

#### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ①教科書に掲載されている短歌から印象に残った作品を選び、作者や時代背景、同じ作者の他の作品等について調べる。【個】
- ②Google スライドを用いて調べた内容をまとめる。【個】
- ③グループで発表し、発表を通して感じた「短歌の魅力」についてグループで話し合う。【グ】
- ④個人で「短歌の魅力」について感じたこと、思ったことをGoogle formに記述する。【個】

#### 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

三十一音という短い言葉の中に、作者の人生や心情など、その人の伝えたい思いが詰め込まれているところ。また、三十一音だからこそ、読者に想像や解釈の余地を与えているところも短歌の魅力である。